

ゴミ問題と私たちの意識

細沼日希 稲本光希

要旨

2020年6月に日本でプラスチックバッグの有料化がはじまったことで、ゴミ処理の問題をより身近に感じるようになった。それを契機として、地球温暖化の1つの原因とされるゴミ問題の現状に着目した。

調査と考察の結果、ゴミ問題に対する具体的な解決法を提示するまでには至らなかったものの、どういった視点から解決法を探るべきかということは見えてきた。地域によって実情が異なっているため、共通のしくみを用いることは困難であるが、各地域で独自の手段を講じる必要がある。一方で、共通して取り組まなくてはいけないのは、「リサイクル活動」への我々の意識を上げて、変えてくことであるとわかった。そして増え続けるゴミ対策として「リサイクルしてゴミを減らす」ためのリサイクル活動が、消費者のニーズに合わず再びゴミになるなどの「滞るリサイクル」問題にも目をむけたい。リサイクル活動が「ゴミを減らす」という目的に繋がるためにはニーズにあったリサイクル製品にするための新しい素材の開発やコストの見直しなども大切なのではないだろうか。重要なことはゴミ問題の解決のためのリサイクルという「手段」がゴミの削減という「目的」に繋がるようにしていくことだと我々は考える。

Garbage problems and our consciousness

Hosonuma Nikki, Inamoto Mitsuki
Supervisor: Miyashiro Atsushi

Abstract

After seeing the news of "Payment for plastic bags" that came into effect in 2020, we became interested in garbage problems around us and decided to investigate solutions to those problems as a means to prevent global warming, which has long been regarded as one of the major environmental problems.

As a result of the research, we did not find a solution to the garbage problems, but we found out each city or town should take appropriate measures respectively because of the regional differences. We also have to raise awareness of citizens and change their attitude.

And as a measure against the ever-increasing amount of garbage, we would like to pay attention to the problem of "recycling that is stagnant", such as recycling activities to "recycle and reduce garbage" do not meet consumer needs and become garbage again. In order for recycling activities to lead to the purpose of "reducing waste," it may be important to develop new materials and review costs to make recycled products that meet needs. We think that the important thing is to make sure that the "means" of recycling to solve the waste problem leads to the "purpose" of reducing waste.

1. 調査方法

調査方法は3つの形式で行った。

①茨城県内の4市町村の市役所に下記の項目についてアンケート方式での調査

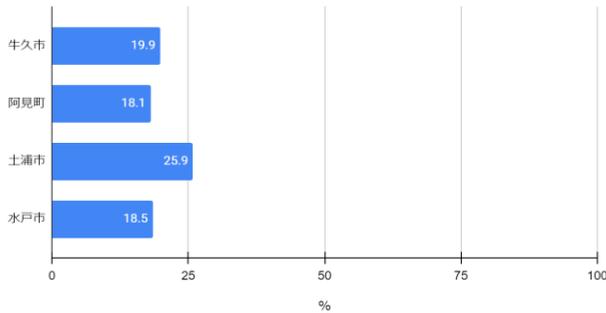
- リサイクル前の問題点
- リサイクル後の問題点
- ゴミ問題に対して現在行っている対策

②日上市生活環境部環境衛生課リサイクル推進室にゴミ問題についての訪問調査

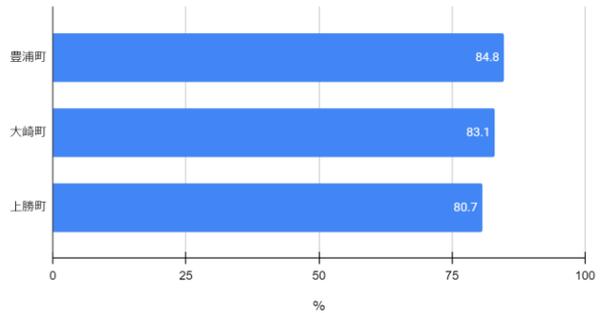
③日本一のリサイクル率ほこる北海道豊浦町役場町民課町民係にアンケート方式での調査

2. 調査結果

茨城県市町村のリサイクル率



高リサイクル率市町村のリサイクル率



<各市町村のゴミのリサイクル率>

① 茨城県内の4つの市町村におけるアンケート結果

・リサイクル前の問題点

牛久市：適切なゴミの分別ができていない

阿見町：鉄、アルミニウム製品のリサイクル業者引き渡し価格の低下

土浦市：ごみの分別の周知徹底ができていない

リサイクルに適していない物の混入

水戸市：大量のゴミによりリサイクル活動が困難

・リサイクル後の問題点

牛久市：質の高いリサイクル製品を作るために、異物の排除と資源物の確保

阿見町：資源処分コストの高騰

土浦市：適切なゴミの分別の周知

水戸市：ゴミの減量化

・ゴミ問題に対して現在行っている対策

牛久市：分かりやすい分別方法の広報活動の強化し、分別の徹底

阿見町：小型家電の回収ボックスの設置

資源物のリサイクル活動を行っている子ども会への助成金の設置

土浦市：リサイクル活動者への助成金の設置

水戸市：* MCS24(みとコンビニスタイル24)の奨励

*コンビニでの買い物の際にエコバック持参を推奨する活動

② 日立市役所への訪問調査結果(2021年8月18日 現在)

日立市のリサイクル率は18.6%でありここ数年大きな変化なし

●リサイクル前の問題点: 不十分なゴミの分別

●リサイクル後の問題点: 消費者のニーズに合わないリサイクル製品のゴミ化

●ゴミ問題に対して現在行っている対策

*4Rの推進 4R: 3R+refuse(断る)

*コンポスターの奨励 コンポスター: 生ゴミの発酵のために作られたバケツ

現在、150県の購入実績

③北海道豊浦町へのアンケート結果

●高いリサイクル活動への契機

「住んでよいまちこそが、訪ねてよいまち」の実現に向けてまちづくりを行っている豊浦町では、廃棄物処理施設の確保が困難であり、生活環境と自然環境の保全のためには適切かつ早急な廃棄物処理物問題の解決が求められたため。

●現在行っているリサイクル活動

①一般家庭ゴミ⇒町作成のごみ辞典を活用した詳細なゴミの分別
ごみそのものの排出量を抑制し次にリサイクルを基本としている

②漁業関係ゴミ⇒「豊浦町漁業系一般廃棄物リサイクルセンター」にて漁業者から出た養殖ホタテ貝に付着したザラボヤ等の廃棄物を堆肥化处理し、町内及び町外へ堆肥「海の恵み」として販売。

●リサイクル活動への今後の展望

<一般家庭ゴミ >

①ビン・カン・ペットボトルなどの資源物の収集

②町内団体による新聞・雑誌・段ボール・紙パック等の収集活動

③小型家電・古着・天ぷら油の拠点回収活動などを行っているが、今後もより一層リサイクル活動を推進していく必要がある。

< 漁業関係ゴミ >

養殖ホタテ貝の原因不明のへい死により年々ごみが増えつつある現状であることから、その対策についても検討を求められてる。

3. 考察

以上のアンケートおよび訪問調査からゴミの分別に関しては、分別項目を増やすこととリサイクル率の向上は必ずしも比例することはない、また各市町村における人口数や年齢分布によってもリサイクル活動の可能範囲が違ってくると考えられる。

また、ゴミ問題対しての意識の向上が必要であると思われる。ゴミを減らすといった目的につながるリサイクル活動を行う、つまり「目的」が「手段」にならないようにすることが重要になってくるのではないだろうか。ゴミ問題の解決には様々な角度からの検討が必要である。

謝辞

本論文の作成にあたり、適切な助言ならびに丁寧なご指導をしてくださった宮代 篤先生に厚く御礼申し上げます。

調査、分析にあたり、ご協力をいただきまいした茨城県の牛久市、阿見町、土浦市、水戸市ならびに北海道豊浦町町役場の竹島貴徳様に心より感謝いたします。

さらに、訪問調査においてご協力いただきました日立市生活環境部環境衛生課リサイクル推進室の方々に感謝の意を表します。

参考文献

千葉県HP

<https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/yuryouka->
環境省HP

<https://www.env.go.jp/press/107932.html>

一般社団法人産業環境管理協会HP

<http://www.cjc.or.jp/i-school/>

茨城県HP

<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/haitai/kikaku/kika>
グリーンロジテックHP

<https://www.green-logitec.co.jp/blog/category/detail/4/102>

北海道豊浦町HP

<https://www.town.toyoura.hokkaido.jp/hotnews/files/00001500/00001589/20200610145527.pdf>